

産科医療補償制度 第 88 回原因分析委員会 議事要旨

日 時 : 平成 30 年 5 月 29 日 (火) 17 時 00 分～18 時 30 分

場 所 : 公益財団法人日本医療機能評価機構 会議室

出席者 (委員) : 石川浩史、茨聡、井本寛子、上塘正人、北田淳子、楠田聡、
佐藤昌司、下屋浩一郎、鈴木俊治、鈴木利廣、関沢明彦、
高田昌代、豊田郁子、前田津紀夫、宮澤潤、村越毅、吉田幸洋
(敬称略)

議事概要 :

1) 原因分析委員会における報告書の確認・承認状況について

○平成 30 年 4 月末時点で、原因分析報告書の累計承認件数が 1,824 件となったこと等が報告された。また、報告書作成の迅速化・効率化の取組みにより、平成 28 年 3 月末時点からのと比較し、報告書の未送付件数が減少し「事例の概要」の平均作成期間が大幅短縮となったことが報告された。

2) 原因分析報告書全文版 (マスキング版) の開示対応状況について

○平成 27 年 11 月の開示方法の変更以降、平成 30 年 3 月末までに、6 件の原因分析報告書全文版 (マスキング版) の利用申請があり、延べ 605 事例の報告書について開示が行われたことが報告された。

3) 部会審議における確認事項等

○原因分析報告書上の原因の記載や医学的評価のあり方等に関して、原因分析の質および均質性を維持するために、原因分析委員会としての方針を整理した方がよいと提起された事項について考え方を整理した。

4) 分娩機関に対する対応について

○産科医療の質の向上を図ることを目的とした個別の分娩機関への対応に関し、運営委員会から原因分析委員会で検討するよう依頼があった事項について、前回の原因分析委員会から継続して審議を行い、原因分析委員会としての対応方針を決定した。

以上